

作業計画と実績

2018年2月20日現在

月日	曜日	予定 (2/7週間予定表より)		実績	
2月5日	月	Two-Phase Flow	[継続実施中] ○船内利用 ・Space Pup実験 (※冷凍・冷蔵庫 (MELFI)にて実施 中) ・Area PADLES ・PS-TEPC実験 ○船外利用 ・宇宙環境計測 ミッション (SEDA- AP) ・全天のX線天体 の監視 (MAXI) ・簡易曝露実験 装置 (ExHAM)を 利用した曝露実 験 ・高エネルギー 電子、ガンマ線 パーストの観測 (CALET)	Two-Phase Flow	[継続実施中] ○船内利用 ・Space Pup実験 (※冷凍・冷蔵庫 (MELFI)にて実 施中) ・Area PADLES ・PS-TEPC実験 ○船外利用 ・宇宙環境計測 ミッション (SEDA- AP) ・全天のX線天体 の監視 (MAXI) ・簡易曝露実験 装置 (ExHAM)を 利用した曝露実 験 ・高エネルギー 電子、ガンマ線 パーストの観測 (CALET)
2月6日	火	Two-Phase Flow 実験		Two-Phase Flow 実験	
2月7日	水	Two-Phase Flow 実験		Two-Phase Flow 実験	
2月8日	木				
2月9日	金				
2月10日	土				
2月11日	日				

日付は日本時間

略語

- Space Pup: ほ乳類の繁殖における宇宙環境の影響  
(代表研究者: 若山照彦 山梨大学教授)
- Two-Phase Flow: 沸騰・二相流体ループを用いた気液界面形成と熱伝達特性  
(代表研究者: 大田治彦 九州大学教授)
- Area PADLES: 「きぼう」船内の宇宙放射線計測
- PS-TEPC: 位置有感生体組織等価比例計数箱による宇宙ステーション内での線量当量計測技術の確立  
(代表研究者: 佐々木慎一 高エネルギー加速器研究機構・放射線科学センター)
- SEDA-AP: 宇宙環境計測ミッション装置
- MAXI: JEM搭載全天X線監視装置
- ExHAM: 簡易曝露実験装置
- CALET: 高エネルギー電子・ガンマ線観測装置
- MBSU: 電力切替装置

作業計画と実績

2018年2月20日現在

月日	曜日	予定 (2/7週間予定表より)	実績
2月12日	月	[継続実施中] ○船内利用 ・Space Pup実験 (※冷凍・冷蔵庫 (MELFI)にて実施 中) ・Area PADLES ・PS-TEPC実験	[継続実施中] ○船内利用 ・Space Pup実験 (※冷凍・冷蔵庫 (MELFI)にて実施 中) ・Area PADLES ・PS-TEPC実験
2月13日	火		・Mouse Stress Defense実験準備 ・Asian Try Zero-G 2018
2月14日	水	○船外利用 ・宇宙環境計測 ミッション(SEDA- AP)	○船外利用 ・宇宙環境計測 ミッション(SEDA- AP)
2月15日	木	・全天のX線天体 の監視(MAXI) ・簡易曝露実験 装置(ExHAM)を 利用した曝露実 験	・全天のX線天体 の監視(MAXI) ・簡易曝露実験 装置(ExHAM)を 利用した曝露実 験
2月16日	金	・Mouse Stress Defense実験準備	・高エネルギー 電子、ガンマ線 パーストの観測 (CALET)
2月17日	土		
2月18日	日		

日付は日本時間

- 略語
- Space Pup: ほ乳類の繁殖における宇宙環境の影響  
(代表研究者: 若山照彦 山梨大学教授)
  - Mouse stress Defense: 宇宙ストレスにおける環境応答型転写因子の役割  
(代表研究者: 山本雅之 東北大学教授)
  - Area PADLES: 「きぼう」船内の宇宙放射線計測
  - PS-TEPC: 位置有感生体組織等価比例計数箱による宇宙ステーション内での線量当量計測技術の確立  
(代表研究者: 佐々木慎一 高エネルギー加速器研究機構・放射線科学センター)
  - SEDA-AP: 宇宙環境計測ミッション装置
  - MAXI: JEM搭載全天X線監視装置
  - ExHAM: 簡易曝露実験装置
  - CALET: 高エネルギー電子・ガンマ線観測装置
  - MBSU: 電力切替装置
  - Asian Try Zero-G 2018: アジア簡易物理実験